SPARX

■ 当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | | |
|---|---|---|
| 商品分類 | 追加型投信／国内／株式 | |
| 信託期間 | 無期限（2016年9月23日設定） | |
| 運用方針 | この投資信託は、主としてスパークス・日本中小型株・マザーファンドの受益証券への投資を通じて、日本の金融商品取引所上場株式を中心に投資を行い、投資信託財産の中長期的な成長を目標に積極的な運用を行います。 | |
| 主要運用対象 | ベビーファンド | 主としてスパークス・日本中小型株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、わが国の金融商品取引所上場株式に実質的に投資します。また、資金動向・市況動向等によってはわが国の金融商品取引所上場株式等に直接投資することもあります。 |
| | マザーファンド | わが国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。 |
| 組入制限 | ベビーファンド | ①株式への実質投資割合には、制限を設けません。<br>②外貨建資産への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の30％以内とします。 |
| | マザーファンド | ①株式への投資割合には、制限を設けません。<br>②外貨建資産への投資割合は、信託財産の純資産総額の30％以内とします。 |
| 分配方針 | 毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。<br>・分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当収入および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。<br>・分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等は、分配を行わないこともあります。<br>・留保益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。 | |

# スパークス・日本中小型株式ファンド（ラップ向け）

## 第5期 運用報告書（全体版）

（決算日 2021年6月21日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、『スパークス・日本中小型株式ファンド（ラップ向け）』は、このたび、第5期の決算を行いました。
ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

スパークス・アセット・マネジメント株式会社
東京都港区港南一丁目2番70号　品川シーズンテラス
＜ お問い合わせ先 ＞
リテールBDマーケティング部
電話：03-6711-9200(代表)
受付時間：営業日の9時～17時
ホームページアドレス：https://www.sparx.co.jp/

## ■ 設定以来の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | | ベンチマーク | | 株式組入比率 | 投資証券組入比率 | 純資産総額 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | (分配落) | 税込み分配金 | 期中騰落率 | | 期中騰落率 | | | |
| (設定日) | 円 | 円 | % | | % | % | % | 百万円 |
| 2016年9月23日 | 10,000 | － | － | 655.81 | － | － | － | 1 |
| 1期(2017年6月20日) | 13,855 | 0 | 38.6 | 816.42 | 24.5 | 94.6 | － | 138 |
| 2期(2018年6月20日) | 17,608 | 0 | 27.1 | 912.68 | 11.8 | 91.4 | － | 247 |
| 3期(2019年6月20日) | 15,446 | 0 | △ 12.3 | 801.53 | △ 12.2 | 93.8 | － | 170 |
| 4期(2020年6月22日) | 17,160 | 0 | 11.1 | 823.47 | 2.7 | 96.2 | 1.0 | 229 |
| 5期(2021年6月21日) | 19,797 | 0 | 15.4 | 984.63 | 19.6 | 95.9 | 1.2 | 318 |

(注1) 設定日の基準価額は設定当初の投資元本です。
(注2) 設定日のベンチマークは、設定日前営業日の値です。
(注3) 基準価額の騰落率は分配金込みです。
(注4) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」「投資証券組入比率」は実質比率を記載しております。
(注5) 当ファンドのベンチマークは、「ラッセル／ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数(配当込み)」です。
(注6) ラッセル／ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数(配当込み)はRussell/Nomura日本株インデックスのサイズ別指数です。Russell/Nomura日本株インデックスは、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社及びRussell Investmentsに帰属します。なお、野村證券株式会社及びRussell Investmentsは、ラッセル／ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数(配当込み)の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、スパークス・アセット・マネジメント株式会社がラッセル／ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数(配当込み)を用いて行う事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

## ■ 当期中の基準価額と市況等の推移

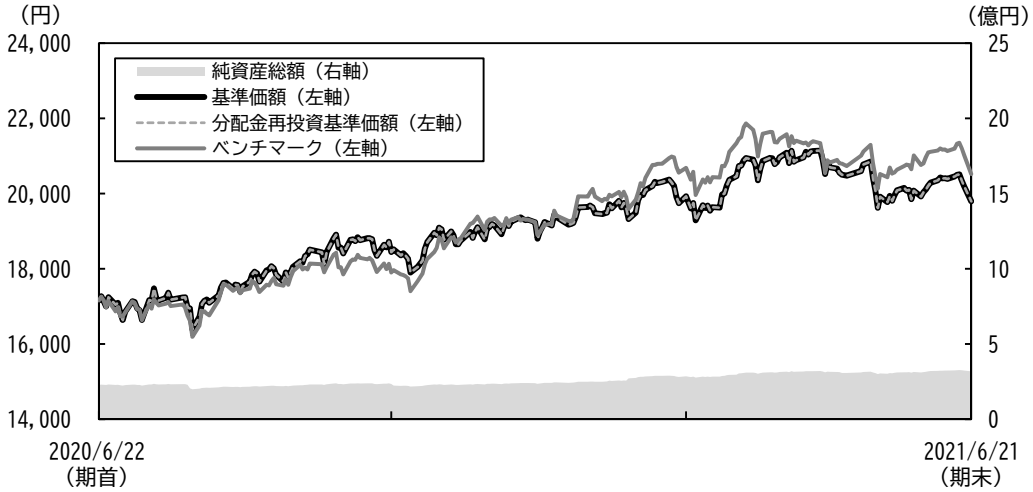
| 年　月　日 | 基準価額 | | ベンチマーク | | 株式組入比率 | 投資証券組入比率 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 騰落率 | | 騰落率 | | |
| (期　首) | 円 | % | | % | % | % |
| 2020年 6月22日 | 17,160 | － | 823.47 | － | 96.2 | 1.0 |
| 6月末 | 17,094 | △ 0.4 | 814.73 | △ 1.1 | 95.9 | 0.9 |
| 7月末 | 16,391 | △ 4.5 | 777.09 | △ 5.6 | 96.4 | 0.9 |
| 8月末 | 17,960 | 4.7 | 843.44 | 2.4 | 96.1 | 1.1 |
| 9月末 | 18,561 | 8.2 | 865.74 | 5.1 | 95.9 | 1.1 |
| 10月末 | 17,901 | 4.3 | 835.25 | 1.4 | 95.9 | 1.3 |
| 11月末 | 18,784 | 9.5 | 913.28 | 10.9 | 96.5 | 1.3 |
| 12月末 | 19,377 | 12.9 | 931.75 | 13.1 | 95.6 | 1.4 |
| 2021年 1月末 | 19,325 | 12.6 | 940.33 | 14.2 | 94.8 | 1.3 |
| 2月末 | 19,289 | 12.4 | 957.88 | 16.3 | 95.3 | 1.7 |
| 3月末 | 20,783 | 21.1 | 1,025.36 | 24.5 | 95.3 | 1.0 |
| 4月末 | 20,475 | 19.3 | 994.92 | 20.8 | 95.8 | 1.0 |
| 5月末 | 19,923 | 16.1 | 996.38 | 21.0 | 96.0 | 1.2 |
| (期　末) | | | | | | |
| 2021年 6月21日 | 19,797 | 15.4 | 984.63 | 19.6 | 95.9 | 1.2 |

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」「投資証券組入比率」は実質比率を記載しております。

## ■ 運用経過

### 1）基準価額等の推移 (2020年6月23日～2021年6月21日)

基準価額は期首に比べ15.4%(分配金再投資ベース)の上昇となりました。




第5期 首 ： 17,160円
第5期 末 ： 19,797円(既払分配金0円)
騰 落 率 ： 15.4%(分配金再投資ベース)

※ 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
※ 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

※ ベンチマークは「ラッセル／ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数(配当込み)」です。
※ ベンチマークは期首(2020年6月22日)の基準価額に合わせて指数化しております。

### 2）基準価額の主な変動要因

当ファンドは、スパークス・日本中小型株・マザーファンド(以下、マザーファンドといいます。)を通じて、日本の中小型株式に投資しております。当期は日本株式市場が上昇する運用環境の中、弊社独自の個別調査に基づき、独自の競争力を持ち長期的な利益成長が期待できる企業へ選別投資いたしました結果、基準価額は期首に比べ15.4%(分配金再投資ベース)上昇しました。

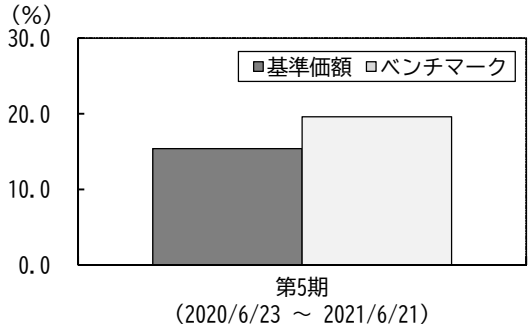
### 3）ベンチマークとの差異

当期の当ファンドの騰落率は15.4%となり、ベンチマークの騰落率の19.6%を下回りました。

ベンチマークとの比較において、業種効果はプラスに、銘柄選択効果はマイナスとなりました。業種単位ではサービス業、医薬品、電気・ガス業などがプラスに、電気機器、海運業、鉄鋼などがマイナスに影響しました。

※ ベンチマークは、「ラッセル／ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数(配当込み)」です。

当ファンドの基準価額とベンチマークの対比(期別騰落率)




（注）基準価額の騰落率は、分配金込みです。

## ■ 投資環境

当期の日本株式市場は、通期で上昇して終了しました。新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大はあったものの、ワクチンへの期待や世界的低金利の維持、各国政府の積極的な経済対策などを背景に市場は堅調な値動きをたどりました。

■ ポートフォリオ

**＜ スパークス・日本中小型株式ファンド（ラップ向け） ＞**

当ファンドは、マザーファンドを通じて、日本の中小型株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目標に運用を行うことを基本とします。マザーファンドの組入比率は高水準を維持しました。このため基準価額は、マザーファンドに組み入れられた資産の変動の影響を大きく受けました。

**＜ スパークス・日本中小型株・マザーファンド ＞**

マザーファンドでは、独自の個別調査に基づき、独自の競争力を持ち長期的な利益成長が期待できる企業へ選別投資いたします。また、市場における過度な悲観や関心の低下により、当ファンドが計測する長期的な企業価値に対して割安に放置されていると考える企業にも投資を行います。

当ファンドではあらかじめ業種毎の比率を決めてから銘柄を組み入れるのではなく、ボトムアップ・リサーチに基づき投資魅力が高いと考える銘柄を選別し、株価上昇余地やリスク要因、株式の流動性や株価が再評価されるまでの時間軸等を考慮して、ポートフォリオを構築しています。

当期においては、半導体テスト需要増加の恩恵を受けると見込まれる山一電機や、更新サイクルによる需要増加が期待される月島機械、車載半導体需要増加の恩恵が期待される住友ベークライトなどに投資を行いました。

一方で、インターネット関連事業大手のサイバーエージェントや、釣具大手のグローブライド、音響機器大手のフォスター電機などの株式を売却しました。サイバーエージェント、グローブライドは株価上昇が、フォスター電機は事業環境の変化を踏まえ先行きに対する見方を変更したことが売却の理由です。

**(主なプラス要因)**

当期のパフォーマンスに貢献した主な銘柄は、カプコン、グローブライド、アウトソーシングなどです。

カプコンはゲーム開発会社です。当ファンドでは、ゲームの流通形態がパッケージからダウンロードへと変化する中で、同社のIP(知的財産)創出力の高さを背景とした利益成長に期待できると考えて投資を行っています。当期においては、豊富な大型タイトルやデジタル販売比率が高水準にあることなどから好調な業績が期待できること等を背景に、株価は上昇したものと考えます。

グローブライドはグローバルで知名度を有する釣具ブランド『ダイワ』を持つ企業です。当ファンドでは、ブランドの海外展開とレジャーとしての釣り市場の拡大による業績拡大に期待し投資を行っています。当期においては、中国での釣り市場拡大を受けた業績成長が好感され株価は上昇したものと考えます。

アウトソーシングは製造業を中心とした製造業派遣を行う企業です。当ファンドでは、コロナ禍を契機とした同社の業界内シェアアップや海外展開の加速に期待し投資を行っています。当期においては、市場期待を上回るペースでの業績悪化からの回復が好感され株価は上昇したものと考えます。

**(主なマイナス要因)**

当期のパフォーマンスにマイナスに影響した主な銘柄は、ヨシムラ・フード・ホールディングス、日本光電工業、NECネッツエスアイなどです。

ヨシムラ・フード・ホールディングスは、中小の食品関連企業を買収し事業規模を拡大させている企業です。当ファンドでは、国内の収益性改善ならびに海外事業の加速に期待し投資を行っています。当期においては、コロナ禍を背景とした外食産業向け需要の減退が響き業績が悪化したことを受け株価は軟調に推移したものと考えます。

日本光電工業は生体情報モニタを主力とする医療機器メーカーです。当ファンドでは、シェアの低い海外市場におけるプレゼンスの向上に期待し投資を行っています。当期においては、コロナ禍を受けた特需の反動減に対する懸念から株価は軟調に推移したものと考えます。

NECネッツエスアイは一般企業・通信会社向けにシステム構築、クラウド提供、通信工事等を手掛けています。当ファンドでは、生産性向上や働き方改革などを背景にネットワークの活用による市場の拡大余地は大きいと考えて投資を行っています。当期においては、コロナ禍特需の反動減に対する懸念から株価は軟調に推移したものと考えます。

〔 組入上位10銘柄 〕

前期末(2020年6月22日)

| | 銘　柄　名 | 比率(%) |
|---|---|---|
| 1 | ＮＥＣネッツエスアイ | 4.1 |
| 2 | タクマ | 3.6 |
| 3 | 三洋化成工業 | 3.4 |
| 4 | 前田工繊 | 3.2 |
| 5 | カプコン | 3.2 |
| 6 | モリタホールディングス | 3.1 |
| 7 | センコーグループホールディングス | 3.0 |
| 8 | 日本光電工業 | 2.6 |
| 9 | 飛島建設 | 2.6 |
| 10 | 九電工 | 2.5 |

※ 比率は対純資産(マザーファンドベース)

当期末(2021年6月21日)

| | 銘　柄　名 | 比率(%) |
|---|---|---|
| 1 | 前田工繊 | 4.0 |
| 2 | センコーグループホールディングス | 3.8 |
| 3 | 三洋化成工業 | 3.0 |
| 4 | シークス | 2.8 |
| 5 | 日本光電工業 | 2.6 |
| 6 | シグマクシス | 2.5 |
| 7 | ＮＥＣネッツエスアイ | 2.5 |
| 8 | 住友ベークライト | 2.4 |
| 9 | サイゼリヤ | 2.3 |
| 10 | 九電工 | 2.3 |

※ 比率は対純資産(マザーファンドベース)

## ■ 今後の運用方針

**＜ スパークス・日本中小型株式ファンド（ラップ向け） ＞**

マザーファンドの組入比率は、引き続き高水準を維持し、信託財産の中長期的な成長を目標に運用を行います。

**＜ スパークス・日本中小型株・マザーファンド ＞**

日本株式市場は一進一退の動きを続けており、経済再開への期待から上昇が続く欧米株式市場との乖離が広がる状況にあります。しかし日本においても着実に経済再開への動きは進展しており、依然として回復の恩恵が株価に反映されていない銘柄には再評価の余地が大きいと考えています。米国の利上げに向けての方向性にも注視しつつ、丹念な銘柄選別に努めてまいります。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## ■ 分配金

当期の収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向等を勘案して見送らせていただきました。なお、留保益につきましては、信託財産中に留保し、当ファンドの基本方針及び今後の運用方針に基づき運用させていただきます。

〔 分配原資の内訳 〕

（単位：円　1万口当たり・税込み）

| 項　　目 | 第5期<br>(2020年6月23日～<br>2021年6月21日) |
|---|---|
| 当期分配金<br>(対基準価額比率) | －<br>( －%) |
| 当期の収益 | － |
| 当期の収益以外 | － |
| 翌期繰越分配対象額 | 9,797 |

(注1) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。
(注2) 該当欄に数値がない場合は「－」、小数点以下のみの数値の場合は「0」にて表示します。
(注3) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

## ■ １万口当たりの費用明細

| 項目 | 当期 2020年6月23日～2021年6月21日 金額 | 比率 | 項目の概要 |
|---|---|---|---|
| (a) 信託報酬 | 194円 | 1.031% | (a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 |
| (投信会社) | ( 186) | ( 0.988) | ・ファンドの運用、開示書類等の作成、基準価額の算出等の対価 |
| (販売会社) | ( 2) | ( 0.011) | ・購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 |
| (受託会社) | ( 6) | ( 0.032) | ・ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価 |
| (b) 売買委託手数料 | 14 | 0.074 | (b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 |
| (株式) | ( 14) | ( 0.074) | ・有価証券等を売買する際に発生する費用 |
| (投資証券) | ( 0) | ( 0.000) | |
| (c) その他費用 | 15 | 0.079 | (c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| (監査費用) | ( 4) | ( 0.021) | ・監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| (印刷費用) | ( 11) | ( 0.058) | ・法定書類等の作成、印刷費用 |
| 合計 | 223 | 1.184 | |
| 期中の平均基準価額は18,822円です。 | | | |

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

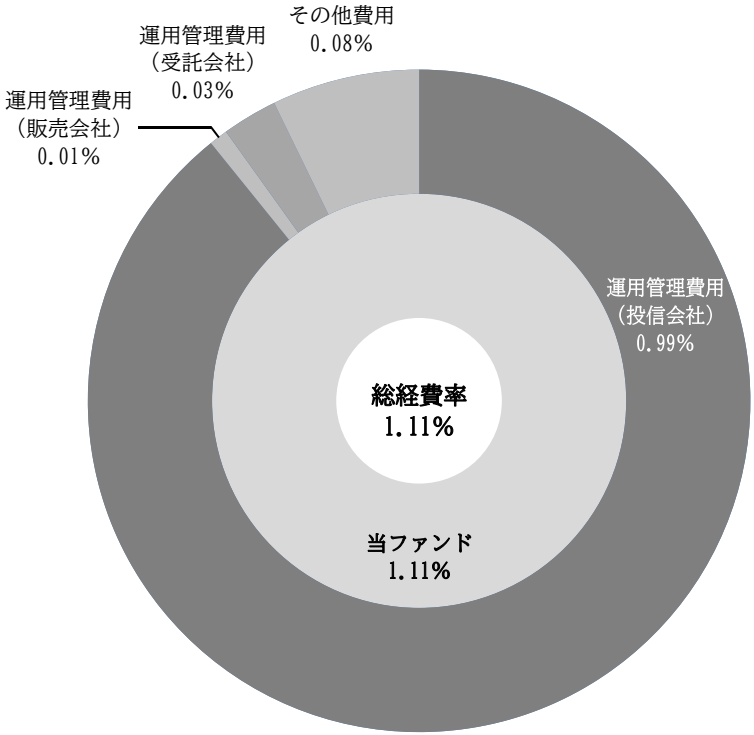
(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.11%です。




（注）当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ■ 親投資信託受益証券の設定、解約状況 (2020年6月23日から2021年6月21日まで)

| 項目 | 設定 | | 解約 | |
|---|---|---|---|---|
| | 口数 | 金額 | 口数 | 金額 |
| | 千口 | 千円 | 千口 | 千円 |
| スパークス・日本中小型株・マザーファンド | 24,747 | 127,431 | 15,018 | 72,853 |

(注) 単位未満は切り捨て。

## ■ 親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項目 | 当期 |
|---|---|
| (a)期中の株式売買金額 | 9,931,884千円 |
| (b)期中の平均組入株式時価総額 | 9,998,953千円 |
| (c)売買高比率(a)/(b) | 0.99 |

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ■ 親投資信託における主要な売買銘柄 (2020年6月23日から2021年6月21日まで)

### (1) 株 式

| 買付 | | | | 売付 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 銘柄 | 株数 | 金額 | 平均単価 | 銘柄 | 株数 | 金額 | 平均単価 |
| | 千株 | 千円 | 円 | | 千株 | 千円 | 円 |
| 山一電機 | 123.5 | 193,783 | 1,569 | カプコン | 102.1 | 539,357 | 5,282 |
| 月島機械 | 132.6 | 180,610 | 1,362 | タクマ | 303.1 | 535,837 | 1,767 |
| 住友ベークライト | 46.8 | 178,599 | 3,816 | 飛島建設 | 305.7 | 332,380 | 1,087 |
| シグマクシス | 102.1 | 171,976 | 1,684 | 三菱総合研究所 | 67 | 279,669 | 4,174 |
| 日本アクア | 250.2 | 154,425 | 617 | モリタホールディングス | 156.5 | 279,386 | 1,785 |
| CKD | 85.1 | 145,049 | 1,704 | NECネッツエスアイ | 136.6 | 277,647 | 2,032 |
| 丹青社 | 147.7 | 119,527 | 809 | エニグモ | 176.4 | 234,368 | 1,328 |
| ラクト・ジャパン | 37.4 | 108,789 | 2,908 | レック | 162.7 | 234,168 | 1,439 |
| キター | 63.4 | 106,714 | 1,683 | エイチワン | 337.6 | 229,274 | 679 |
| アウトソーシング | 97.3 | 102,328 | 1,051 | サイバーエージェント | 34.7 | 216,186 | 6,230 |

(注) 金額は受け渡し代金。

### (2) 投資信託受益証券、投資証券

| 買付 | | | 売付 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 銘柄 | 口数 | 金額 | 銘柄 | 口数 | 金額 |
| | 千口 | 千円 | | 千口 | 千円 |
| − | − | − | インヴィンシブル投資法人 | 1.797 | 70,467 |

(注) 金額は受け渡し代金。(償還分は含まれておりません。)

## ■ 利害関係人との取引状況等 (2020年6月23日から2021年6月21日まで)

(1) 当期中の利害関係人との取引状況
当期中における利害関係人との取引はありません。
(2) 利害関係人の発行する有価証券等の売買状況及び期末残高
該当事項はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定する利害関係人です。

## ■ 信託財産と委託会社との間の取引の状況 (2020年6月23日から2021年6月21日まで)

委託会社が行う第一種金融商品取引業及び第二種金融商品取引業に係る業務において、信託財産との当期中における取引はありません。

## ■ 委託会社による自社が設定する投資信託の受益証券又は投資法人の投資証券の自己取得及び処分の状況 (2020年6月23日から2021年6月21日まで)

該当事項はありません。

## ■ 組入資産の明細 (2021年6月21日現在)

**親投資信託残高**

| 項目 | 前期末 | 当期末 | |
|---|---|---|---|
| | 口数 | 口数 | 評価額 |
| | 千口 | 千口 | 千円 |
| スパークス・日本中小型株・マザーファンド | 50,831 | 60,560 | 317,766 |

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

## ■ 有価証券の貸付及び借入の状況 (2021年6月21日現在)

該当事項はありません。

## ■ 投資信託財産の構成 (2021年6月21日現在)

| 項目 | 当期末 | |
|---|---|---|
| | 評価額 | 比率 |
| | 千円 | % |
| スパークス・日本中小型株・マザーファンド | 317,766 | 99.3 |
| コール・ローン等、その他 | 2,301 | 0.7 |
| 投資信託財産総額 | 320,067 | 100.0 |

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

## ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年6月21日現在)

| 項目 | 当期末 |
|---|---|
| (A)資産 | 320,067,715円 |
| コール・ローン等 | 2,038,666 |
| スパークス・日本中小型株・マザーファンド(評価額) | 317,766,417 |
| 未収入金 | 262,632 |
| (B)負債 | 1,874,070 |
| 未払解約金 | 262,632 |
| 未払信託報酬 | 1,499,856 |
| 未払利息 | 5 |
| その他未払費用 | 111,577 |
| (C)純資産総額(A−B) | 318,193,645 |
| 元本 | 160,725,486 |
| 次期繰越損益金 | 157,468,159 |
| (D)受益権総口数 | 160,725,486口 |
| 1万口当たり基準価額(C／D) | 19,797円 |

<注記事項(当期の運用報告書作成時では監査未了)>

① 期首元本額 133,553,618円
期中追加設定元本額 65,311,246円
期中一部解約元本額 38,139,378円

## ■ 損益の状況

当期 (自2020年6月23日 至2021年6月21日)

| 項目 | 当期 |
|---|---|
| (A)配当等収益 | △ 477円 |
| 支払利息 | △ 477 |
| (B)有価証券売買損益 | 30,481,778 |
| 売買益 | 34,867,975 |
| 売買損 | △ 4,386,197 |
| (C)信託報酬等 | △ 2,877,831 |
| (D)当期損益金(A＋B＋C) | 27,603,470 |
| (E)前期繰越損益金 | 21,103,513 |
| (F)追加信託差損益金 | 108,761,176 |
| (配当等相当額) | ( 71,879,202) |
| (売買損益相当額) | ( 36,881,974) |
| (G)合計(D＋E＋F) | 157,468,159 |
| (H)収益分配金 | 0 |
| 次期繰越損益金(G＋H) | 157,468,159 |
| 追加信託差損益金 | 108,761,176 |
| (配当等相当額) | ( 71,879,202) |
| (売買損益相当額) | ( 36,881,974) |
| 分配準備積立金 | 48,707,460 |
| 繰越損益金 | △ 477 |

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

② 分配金の計算過程

| 項目 | | 第5期 |
|---|---|---|
| 費用控除後の配当等収益額 | A | −円 |
| 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券等損益額 | B | 27,603,681円 |
| 収益調整金額 | C | 108,760,699円 |
| 分配準備積立金額 | D | 21,103,779円 |
| 当ファンドの分配対象収益額(E=A＋B＋C＋D) | E | 157,468,159円 |
| 当ファンドの期末残存口数 | F | 160,725,486口 |
| 1万口当たり収益分配対象額(G=E/F×10,000) | G | 9,797.33円 |
| 1万口当たり分配金額 | H | −円 |
| 収益分配金金額(I=F×H/10,000) | I | −円 |

## ■ 分配金のお知らせ

| | |
|---|---|
| 1万口当たり分配金(税込み) | －円 |

## ■ お知らせ

該当事項はありません。

## ＜ 補足情報 ＞

## ■ 組入資産の明細 (2021年6月21日現在)

下記は、スパークス・日本中小型株・マザーファンド全体(1,712,727千口)の内容です。

### (1) 国内株式

| 銘柄 | 期首(前期末) | 当期末 | |
|---|---|---|---|
| | 株数 | 株数 | 評価額 |
| | 千株 | 千株 | 千円 |
| 建設業(5.2%) | | | |
| 日本アクア | － | 250.2 | 138,861 |
| オリエンタル白石 | － | 363.5 | 101,053 |
| 飛島建設 | 305.7 | － | － |
| 九電工 | 105.7 | 61.1 | 206,823 |
| ＯＳＪＢホールディングス | 442.4 | － | － |
| 食料品(2.8%) | | | |
| ニップン | 96.7 | 58.6 | 90,595 |
| ヨシムラ・フード・ホールディングス | 154.1 | 198.8 | 150,889 |
| 繊維製品(1.3%) | | | |
| 富士紡ホールディングス | － | 28.1 | 109,590 |
| 化学(9.4%) | | | |
| 東京応化工業 | 50.1 | 20 | 136,200 |
| 住友ベークライト | － | 46.8 | 216,216 |
| ダイキョーニシカワ | 111.9 | － | － |
| 三洋化成工業 | 88.7 | 50.4 | 272,160 |
| 高砂香料工業 | 70.1 | 28.3 | 76,410 |
| レック | 162.7 | － | － |
| 藤森工業 | 52.4 | 28.1 | 111,557 |
| ガラス・土石製品(1.7%) | | | |
| 日本ヒューム | 92.1 | － | － |
| 日本特殊陶業 | 114.5 | 90.4 | 146,900 |
| 非鉄金属(－%) | | | |
| タツタ電線 | 234.8 | － | － |

| 銘柄 | 期首(前期末) | 当期末 | |
|---|---|---|---|
| | 株数 | 株数 | 評価額 |
| | 千株 | 千株 | 千円 |
| 金属製品(0.5%) | | | |
| バイオラックス | 114 | － | － |
| エイチワン | 396.1 | 58.5 | 43,524 |
| 機械(10.8%) | | | |
| 三浦工業 | 25.2 | 17.2 | 81,700 |
| タクマ | 303.1 | － | － |
| ＦＵＪＩ | 68.9 | 39.4 | 97,239 |
| 月島機械 | － | 132.6 | 155,009 |
| 帝国電機製作所 | 114.2 | 112.1 | 141,358 |
| ＣＫＤ | － | 85.1 | 197,261 |
| キトー | － | 63.4 | 100,045 |
| ＪＵＫＩ | 307.7 | － | － |
| マックス | － | 54.9 | 94,977 |
| ＴＰＲ | 147.9 | 47.2 | 67,779 |
| 電気機器(9.2%) | | | |
| 山洋電気 | － | 8.9 | 66,216 |
| アルバック | 19.2 | 36 | 195,120 |
| エレコム | 25.5 | 46.4 | 91,361 |
| フォスター電機 | 158.7 | － | － |
| 日本光電工業 | 93.9 | 76.3 | 233,096 |
| 山一電機 | － | 123.5 | 206,615 |
| 輸送用機器(1.7%) | | | |
| モリタホールディングス | 210.5 | 54 | 83,862 |
| 三菱ロジスネクスト | 62.8 | 61.6 | 62,339 |

| 銘柄 | 期首(前期末) | 当期末 | |
|---|---|---|---|
| | 株数 | 株数 | 評価額 |
| | 千株 | 千株 | 千円 |
| 河西工業 | 93 | － | － |
| その他製品(6.3%) | | | |
| 前田工繊 | 163.2 | 110.7 | 361,989 |
| 大建工業 | 58.4 | 23.2 | 46,933 |
| 三菱鉛筆 | 45.4 | － | － |
| グローブライド | 86.6 | 34.2 | 135,945 |
| 陸運業(4.0%) | | | |
| センコーグループホールディングス | 473.7 | 331.6 | 341,216 |
| 情報・通信業(9.1%) | | | |
| ＮＥＣネッツエスアイ | 249.7 | 128.6 | 221,963 |
| 日鉄ソリューションズ | 20.4 | － | － |
| 三菱総合研究所 | 67 | － | － |
| ポールトゥウィン・ピットクルーホールディングス | － | 70.8 | 76,110 |
| エニグモ | 176.4 | － | － |
| マクロミル | 204 | 216.6 | 183,243 |
| ｃｏｌｙ | － | 5.9 | 25,724 |
| くふうカンパニー | 202.6 | 202.6 | 135,336 |
| コマースＯｎｅホールディングス | － | 14.6 | 34,777 |
| ジャストシステム | 38.4 | 13 | 81,250 |
| カプコン | 101.8 | 9.6 | 30,000 |
| 卸売業(5.6%) | | | |
| ラクト・ジャパン | － | 37.4 | 100,643 |
| 小野建 | 216.8 | 98.3 | 124,841 |
| シークス | 263.1 | 169.4 | 255,963 |
| ヤマタネ | 32 | － | － |
| 小売業(8.1%) | | | |
| パルグループホールディングス | 43.6 | 61.3 | 101,880 |
| シュッピン | 300.6 | 127.7 | 133,957 |
| コスモス薬品 | 16.6 | 5.9 | 99,120 |
| サイゼリヤ | 120.7 | 79.6 | 209,427 |
| ＶＴホールディングス | 628.2 | 331.8 | 154,950 |
| その他金融業(2.1%) | | | |
| アルヒ | 139.5 | 127.2 | 184,821 |
| 不動産業(1.3%) | | | |
| トーセイ | 103.8 | 101.9 | 109,033 |
| サービス業(20.9%) | | | |
| アウトソーシング | － | 97.3 | 192,945 |
| ライク | 149.1 | 99.5 | 197,109 |
| バリューコマース | 34.3 | 60.2 | 184,814 |
| セプテーニ・ホールディングス | 469.7 | 447.4 | 193,276 |
| アミューズ | － | 38.8 | 90,442 |
| サイバーエージェント | 34.7 | － | － |
| シグマクシス | － | 102.1 | 223,599 |
| ソウルドアウト | 76.3 | 43.8 | 76,869 |
| プロレド・パートナーズ | 10 | － | － |
| リログループ | － | 35.1 | 90,873 |
| トランス・コスモス | 115.3 | 57.2 | 163,820 |
| 丹青社 | － | 147.7 | 125,988 |
| 応用地質 | 126.5 | 124.2 | 156,243 |
| ベネッセホールディングス | － | 40.3 | 107,077 |
| 合計 株数・金額 | 8,991 | 5,836 | 8,626,948 |
| 合計 銘柄数<比率> | 60銘柄 | 62銘柄 | <96.0%> |

(注1) 銘柄欄の(　)内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。
(注2) 合計欄の<　>内は、このファンドが組み入れている親投資信託の純資産総額に対する評価額の比率。
(注3) 評価額の単位未満は切り捨て。

## (2) 国内投資信託受益証券、投資証券

| 銘柄 | | 期首(前期末) | 当期末 | |
|---|---|---|---|---|
| | | 口数 | 口数 | 評価額 |
| | | 千口 | 千口 | 千円 |
| インヴィンシブル投資法人 | | 4 | 2 | 107,907 |
| 合計 | 口数・金額 | 4 | 2 | 107,907 |
| | 銘柄数・<比率> | 1銘柄 | 1銘柄 | <1.2%> |

(注1) 合計欄の<　>内は、このファンドが組み入れている親投資信託の純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 単位未満は切り捨て。

# スパークス・日本中小型株・マザーファンド

## 第 14 期

決算日　2020年11月20日

（計算期間：2019年11月21日～2020年11月20日）

「スパークス・日本中小型株・マザーファンド」は、2020年11月20日に第14期の決算を行いました。以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第14期の運用状況をご報告申し上げます。

| | |
|---|---|
| 運用方針 | 主としてわが国の金融商品取引所上場株式の中小型株式の中から、徹底したボトムアップ・リサーチに基づいて銘柄を選択し、ポートフォリオを構築します。 |
| 主要投資対象 | わが国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。 |
| 組入制限 | 株式への投資には、制限を設けません。 |

### ■ 最近５期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | ベンチマーク | | 株式組入比率 | 投資証券組入比率 | 純資産総額 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 期中騰落率 | | 期中騰落率 | | | |
| | 円 | % | | % | % | % | 百万円 |
| 10期(2016年11月21日) | 27,889 | 0.6 | 703.95 | △ 7.4 | 90.8 | － | 370 |
| 11期(2017年11月20日) | 41,132 | 47.5 | 896.66 | 27.4 | 89.6 | － | 17,198 |
| 12期(2018年11月20日) | 43,442 | 5.6 | 845.26 | △ 5.7 | 92.6 | － | 25,993 |
| 13期(2019年11月20日) | 44,940 | 3.4 | 882.03 | 4.3 | 96.3 | － | 17,910 |
| 14期(2020年11月20日) | 49,384 | 9.9 | 902.88 | 2.4 | 95.4 | 1.3 | 10,386 |

(注１) 当ファンドのベンチマークは、「ラッセル／ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数(配当込み)」です。

(注２) ラッセル／ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数(配当込み)は Russell/Nomura 日本株インデックスのサイズ別指数です。Russell/Nomura 日本株インデックスは、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社及び Russell Investments に帰属します。なお、野村證券株式会社及び Russell Investments は、ラッセル／ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数(配当込み)の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、スパークス・アセット・マネジメント株式会社がラッセル／ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数(配当込み)を用いて行う事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

## ■ 当期中の基準価額と市況等の推移

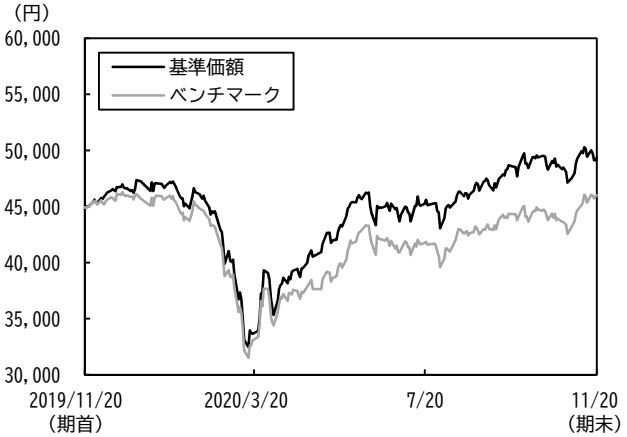
| 年　月　日 | 基準価額 | | ベンチマーク | | 株式組入比率 | 投資証券組入比率 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 騰落率 | | 騰落率 | | |
| | 円 | % | | % | % | % |
| (期　首)<br>2019年11月20日 | 44,940 | － | 882.03 | － | 96.3 | － |
| 11月末 | 45,323 | 0.9 | 886.61 | 0.5 | 96.6 | － |
| 12月末 | 47,255 | 5.2 | 897.40 | 1.7 | 96.7 | － |
| 2020年 1月末 | 45,246 | 0.7 | 864.82 | △ 2.0 | 97.5 | － |
| 2月末 | 39,890 | △11.2 | 761.53 | △13.7 | 97.9 | － |
| 3月末 | 38,519 | △14.3 | 722.26 | △18.1 | 96.2 | － |
| 4月末 | 41,080 | △ 8.6 | 754.91 | △14.4 | 95.2 | 0.6 |
| 5月末 | 45,386 | 1.0 | 818.70 | △ 7.2 | 95.2 | 0.9 |
| 6月末 | 44,864 | △ 0.2 | 814.73 | △ 7.6 | 96.0 | 0.9 |
| 7月末 | 43,044 | △ 4.2 | 777.09 | △11.9 | 96.4 | 0.9 |
| 8月末 | 47,207 | 5.0 | 843.44 | △ 4.4 | 96.1 | 1.1 |
| 9月末 | 48,828 | 8.7 | 865.74 | △ 1.8 | 95.7 | 1.1 |
| 10月末 | 47,130 | 4.9 | 835.25 | △ 5.3 | 95.7 | 1.3 |
| (期　末)<br>2020年11月20日 | 49,384 | 9.9 | 902.88 | 2.4 | 95.4 | 1.3 |

(注) 騰落率は期首比です。

※ ベンチマーク＝ラッセル／ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数(配当込み)

## ■ 基準価額等の推移

当期末の基準価額は49,384円となり、第14期の騰落率は9.9%となりました。




| 期　首 | 高　値 | 安　値 | 期　末 |
|---|---|---|---|
| 2019/11/20<br>44,940円 | 2020/11/11<br>50,284円 | 2020/3/16<br>32,477円 | 2020/11/20<br>49,384円 |

※ ベンチマークは期首(2019年11月20日)の基準価額に合わせて指数化しております。

## ■ 基準価額の主な変動要因

当ファンドは日本の中小型株式に投資しております。当期は日本株式市場が上昇する運用環境の中、弊社独自の個別調査に基づき、独自の競争力を持ち長期的な利益成長が期待できる企業へ選別投資いたしました結果、基準価額は期首に比べ9.9%(分配金再投資ベース)上昇しました。

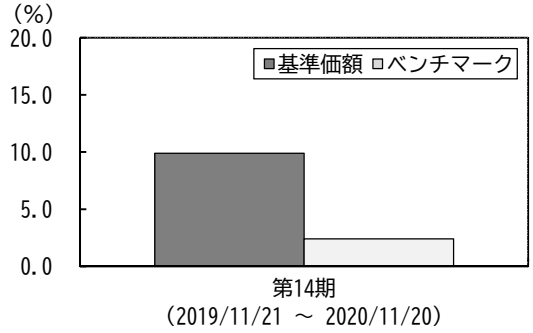
## ■ ベンチマークとの差異

当期の当ファンドの騰落率は9.9%となり、ベンチマークの騰落率の2.4%を上回りました。

ベンチマークとの比較において、業種効果、個別選択効果ともにプラス効果となりました。業種単位では情報・通信業、サービス業、銀行業などがプラスに、電気機器、建設業、輸送用機器などがマイナスに影響しました。

※ ベンチマークは、「ラッセル／ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数(配当込み)」です。

当ファンドの基準価額とベンチマークの対比(期別騰落率)




(注) 基準価額の騰落率は、分配金込みです。

## ■ 投資環境

当期の日本株式市場は、期首堅調に推移した後に急落、その後急反発し通期では前期比上昇して終了しました。12月にかけて米中貿易摩擦の好転期待から堅調に推移しました。2020年に入り新型コロナウイルス感染症の感染拡大により前半は大幅な下落に見舞われましたが、その後は世界的な金融緩和や経済対策、ワクチン開発に伴う経済活動再開期待などを背景に市場は回復基調を辿りました。

## ■ ポートフォリオ

当ファンドでは、弊社独自の個別調査に基づき、独自の競争力を持ち長期的な利益成長が期待できる企業へ選別投資いたします。また、市場における過度な悲観や関心の低下により、弊社が計測する長期的な企業価値に対して割安に放置されていると考える企業にも投資を行います。あらかじめ業種毎の比率を決めてから銘柄を組み入れるのではなく、ボトムアップ・リサーチに基づき投資魅力が高いと考える銘柄を選別し、株価上昇余地やリスク要因、株式の流動性や株価が再評価されるまでの時間軸等を考慮して、ポートフォリオを構築しています。

当期においては、プラグのシェアアップと新規事業展開が見込まれる日本特殊陶業や、増加する中小食品企業の事業承継を事業機会として捉えられるヨシムラ・フード・ホールディングス、正確なマーケティング施策需要増を背景としたマーケティング・リサーチ需要増が見込まれるマクロミルなどに投資を行いました。

一方で、生産性向上や働き方改革などを背景にネットワークの活用による市場の拡大が期待されるＮＥＣネッツエスアイや、商業施設における体験や情報発信といった時代の変化に対応した特徴ある施設デベロッパーとしての成長が期待されるパルコ、ローコストオペレーションの徹底による事業展開が期待される西松屋チェーンなどの株式を売却しました。ＮＥＣネッツエスアイは大きく上昇したことに伴う投資比率調整のため、パルコは親会社であるＪ．フロントリテイリングがＴＯＢ（公開買付け）による完全子会社化を発表し株価が上昇したこと、西松屋チェーンはより魅力的な銘柄への入れ替えが売却の理由です。

**（主なプラス要因）**

当期のパフォーマンスに貢献した主な銘柄は、ＮＥＣネッツエスアイ、カプコン、タクマなどです。

ＮＥＣネッツエスアイは一般企業・通信会社向けにシステム構築、クラウド提供、通信工事等を手掛けています。当ファンドでは、生産性向上や働き方改革などを背景にネットワークの活用による市場の拡大余地は大きいと考えて投資を行っています。当期においては、企業ネットワークを中心に働き方改革関連の需要増加を背景として好業績であること、当該トレンドが新型コロナウイルスの影響により更に強まることが期待され、株価は上昇したものと考えます。

カプコンはゲーム開発会社です。当ファンドでは、ゲームの流通形態がパッケージからダウンロードへと変化する中で、同社のＩＰ（知的財産）創出力の高さを背景とした利益成長に期待できると考えて投資を行っています。当期においては、豊富な大型タイトルやデジタル販売比率が高水準にあることなどから好調な業績が期待できること等を背景に、株価は上昇したものと考えます。

タクマは、国内トップシェアを持つごみ焼却施設のプラントエンジニアリング企業です。当ファンドでは、ごみ焼却施設の高度化投資やバイオマスプラントなど、同社の競争力が活かせる分野の需要拡大に期待し投資を行っています。当期においては、複数の大型受注獲得などによる将来の業績拡大期待が高まったことをうけ株価は上昇したものと考えます。

**（主なマイナス要因）**

当期のパフォーマンスにマイナスに影響した主な銘柄は、ＪＵＫＩ、フォスター電機、ＴＰＲなどです。

ＪＵＫＩは工業用ミシンで世界トップシェアを誇っています。当ファンドでは、新興国市場での人件費が上昇する中、労働集約的な縫製作業は自動化の恩恵を最も受けやすい業務のひとつであり、同社の幅広い製品ラインナップによる提案力の幅広さを背景として自動縫製機の販売増が期待できると考え投資を行っています。当期においては、中国を中心とした設備投資需要の減少を受けて株価は軟調に推移したものと考えます。

フォスター電機は、音響機器の専業メーカーです。当ファンドでは、車載事業への転換による新たな事業拡大機会に期待し投資を行っています。当期においては、自動車生産の減少を受けた業績悪化を受け、株価は軟調に推移したものと考えます。

ＴＰＲは、エンジン部品を手掛ける自動車部品メーカーです。当ファンドでは、燃費改善需要を追い風とした同社製品のシェアアップが期待できると考え投資を行っています。当期においては、中国現地、欧米系自動車メーカー向けの需要が不振であったこと、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う自動車需要の落ち込みへの懸念等により、株価は軟調に推移したものと考えます。

## ■ 今後の運用方針

堅調な相場展開が続く一方、新型コロナウイルスの感染再拡大による経済活動停滞懸念は払拭できない状況にあります。短期的な不透明感が高まっている点には留意しながらも、コロナ後の世界における事業機会の平常化、または変化に注目し投資機会の発掘に努めます。
当ファンドでは従前から変わらず、様々な要因により市場から嫌われている、また見過ごされている状況を魅力的な投資機会と捉え投資を行ってまいります。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

## ■ １万口当たりの費用明細

| 項目 | 当期 2019年11月21日～2020年11月20日 | | 項目の概要 |
|---|---|---|---|
| | 金額 | 比率 | |
| (a) 売買委託手数料 | 36円 | 0.081% | (a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 |
| （株式） | ( 36) | ( 0.081) | ・有価証券等を売買する際に発生する費用 |
| （投資証券） | ( 0) | ( 0.000) | |
| (b) その他費用 | 0 | 0 | (b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| （その他） | ( 0) | ( 0.000) | ・信託事務の処理等に関するその他の諸費用 |
| 合計 | 36 | 0.081 | |
| 期中の平均基準価額は44,481円です。 | | | |

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注3) 各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ■ 期中の売買及び取引の状況 （2019年11月21日から2020年11月20日まで）

### (1) 株　式

| | | 買付 | | 売付 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 株数 | 金額 | 株数 | 金額 |
| 国内 | | 千株 | 千円 | 千株 | 千円 |
| | 上場 | 2,740<br>( 220) | 3,091,183<br>( －) | 7,400<br>( －) | 11,123,188<br>( －) |

(注1) 金額は受け渡し代金。
(注2) 単位未満は切り捨て。
(注3) ( )内は増資割当、株式転換・合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

### (2) 投資信託受益証券、投資証券

| | | 買付 | | 売付 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 単位数又は口数 | 買付額 | 単位数又は口数 | 売付額 |
| 国内 | | 千口 | 千円 | 千口 | 千円 |
| | インヴィンシブル投資法人 | 4.166 | 93,714 | － | － |

(注1) 金額は受け渡し代金。
(注2) 単位未満は切り捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

## ■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項目 | 当期 |
|---|---|
| (a)期中の株式売買金額 | 14,214,371千円 |
| (b)期中の平均組入株式時価総額 | 12,555,113千円 |
| (c)売買高比率(a)／(b) | 1.13 |

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ■ 主要な売買銘柄 (2019年11月21日から2020年11月20日まで)

**株 式**

| 買付 | | | | 売付 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 銘柄 | 株数 | 金額 | 平均単価 | 銘柄 | 株数 | 金額 | 平均単価 |
| | 千株 | 千円 | 円 | | 千株 | 千円 | 円 |
| 日本特殊陶業 | 114.5 | 250,206 | 2,185 | NECネッツエスアイ | 303.2 | 921,667 | 3,039 |
| ヨシムラ・フード・ホールディングス | 198.8 | 214,401 | 1,078 | パルコ | 505.5 | 868,325 | 1,717 |
| マクロミル | 204 | 198,943 | 975 | 西松屋チェーン | 639.4 | 572,749 | 895 |
| 日本製粉 | 96.7 | 165,405 | 1,710 | タクマ | 326.5 | 475,754 | 1,457 |
| エニグモ | 176.4 | 164,453 | 932 | カプコン | 100.5 | 455,756 | 4,534 |
| ソウルドアウト | 76.3 | 148,544 | 1,946 | 飛島建設 | 332 | 372,703 | 1,122 |
| CKD | 85.1 | 145,049 | 1,704 | コスモス薬品 | 17.9 | 368,475 | 20,585 |
| レック | 118.2 | 139,773 | 1,182 | ジャストシステム | 54.4 | 359,661 | 6,611 |
| サイバーエージェント | 34.7 | 129,472 | 3,731 | JUKI | 485 | 341,688 | 704 |
| 日本アクア | 202.7 | 124,441 | 613 | LIFULL | 740.9 | 337,214 | 455 |

(注) 金額は受け渡し代金。

## ■ 利害関係人との取引状況等 (2019年11月21日から2020年11月20日まで)

(1) 当期中の利害関係人との取引状況
当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) 利害関係人の発行する有価証券等の売買状況及び期末残高
該当事項はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定する利害関係人です。

## ■ 信託財産と委託会社との間の取引の状況 (2019年11月21日から2020年11月20日まで)

委託会社が行う第一種金融商品取引業及び第二種金融商品取引業に係る業務において、信託財産との当期中における取引はありません。

## ■ 委託会社による自社が設定する投資信託の受益証券又は投資法人の投資証券の自己取得及び処分の状況 (2019年11月21日から2020年11月20日まで)

該当事項はありません。

## ■ 組入資産の明細 （2020年11月20日現在）

### （1）国内株式

| 銘柄 | 期首（前期末） | 当期末 | |
|---|---|---|---|
| | 株数 | 株数 | 評価額 |
| | 千株 | 千株 | 千円 |
| 建設業(4.4%) | | | |
| 日本アクア | － | 202.7 | 123,647 |
| 飛島建設 | 332 | － | － |
| 九電工 | 105.7 | 67.7 | 205,469 |
| ＯＳＪＢホールディングス | 544.8 | 434.3 | 102,929 |
| 食料品(3.3%) | | | |
| 日本製粉 | － | 94.9 | 159,621 |
| ヨシムラ・フード・ホールディングス | － | 198.8 | 168,781 |
| 繊維製品(0.7%) | | | |
| 東洋紡 | 141.1 | － | － |
| 富士紡ホールディングス | － | 19.7 | 68,654 |
| 化学(10.5%) | | | |
| 東京応化工業 | 84.7 | 35.9 | 223,298 |
| 三洋化成工業 | 124.1 | 76.4 | 343,800 |
| 高砂香料工業 | 70.1 | 58.3 | 144,175 |
| レック | 73.2 | 102.5 | 153,442 |
| 藤森工業 | 83.2 | 40.6 | 175,798 |
| ガラス・土石製品(2.2%) | | | |
| 日本ヒューム | 155.8 | 35.8 | 28,067 |
| 日本特殊陶業 | － | 100.6 | 185,707 |
| 非鉄金属(1.4%) | | | |
| タツタ電線 | 170 | 234.8 | 136,418 |
| 金属製品(2.6%) | | | |
| パイオラックス | 164.8 | 57.9 | 95,361 |
| エイチワン | 489.6 | 249.3 | 166,033 |
| 機械(10.6%) | | | |
| 三浦工業 | 25.2 | 25.2 | 133,308 |
| タクマ | 467.6 | 141.1 | 258,354 |
| アマダ | 144.7 | － | － |
| ＦＵＪＩ | － | 37.5 | 90,000 |
| 帝国電機製作所 | 43.7 | 112.1 | 133,735 |
| ＣＫＤ | － | 85.1 | 185,177 |
| ＪＵＫＩ | 640.3 | 155.3 | 83,706 |
| ＴＰＲ | 218.1 | 117.7 | 162,072 |
| イーグル工業 | 179.3 | － | － |
| 電気機器(6.9%) | | | |
| アルバック | － | 30.2 | 119,743 |
| エレコム | 52.8 | 25 | 115,500 |
| フォスター電機 | 140.2 | 118.8 | 133,174 |
| 日本光電工業 | 182.8 | 92.1 | 312,679 |
| 輸送用機器(2.9%) | | | |
| モリタホールディングス | 306 | 124.2 | 224,429 |
| 三菱ロジスネクスト | 90.8 | 61.6 | 61,723 |
| 河西工業 | 247.3 | － | － |

| 銘柄 | 期首（前期末） | 当期末 | |
|---|---|---|---|
| | 株数 | 株数 | 評価額 |
| | 千株 | 千株 | 千円 |
| その他製品(8.0%) | | | |
| 前田工繊 | 205.2 | 125.9 | 354,030 |
| 大建工業 | 58.4 | 57.3 | 110,359 |
| 三菱鉛筆 | － | 45.4 | 65,693 |
| グローブライド | 86.6 | 65 | 258,700 |
| 陸運業(3.7%) | | | |
| センコーグループホールディングス | 648 | 358.8 | 362,388 |
| 情報・通信業(12.2%) | | | |
| ＮＥＣネッツエスアイ | 226.3 | 113.1 | 211,270 |
| 日鉄ソリューションズ | 79.5 | 20 | 60,100 |
| 三菱総合研究所 | 83.3 | 44.1 | 188,307 |
| ポールトゥウィン・ピットクルーホールディングス | － | 70.8 | 65,065 |
| エニグモ | － | 84.5 | 110,272 |
| マクロミル | － | 200.2 | 128,728 |
| くふうカンパニー | 174.3 | 202.6 | 168,158 |
| ジャストシステム | 69.9 | 15.5 | 106,175 |
| カプコン | 131.8 | 31.3 | 168,081 |
| 卸売業(6.2%) | | | |
| クロスプラス | 61.1 | － | － |
| 小野建 | 216.8 | 175.2 | 217,072 |
| シークス | 263.1 | 221.3 | 354,080 |
| 内田洋行 | 38.1 | － | － |
| ヤマタネ | 23.4 | 31.4 | 42,515 |
| 小売業(7.2%) | | | |
| パルグループホールディングス | 76.2 | 61.3 | 70,495 |
| シュッピン | 249.8 | 208.3 | 161,849 |
| コスモス薬品 | 15.5 | 5.9 | 103,073 |
| 西松屋チェーン | 639.4 | － | － |
| サイゼリヤ | 120.7 | 112.1 | 205,591 |
| ＶＴホールディングス | 628.2 | 470.3 | 174,951 |
| パルコ | 505.5 | － | － |
| その他金融業(2.8%) | | | |
| アルヒ | 139.5 | 127.2 | 274,116 |
| 不動産業(1.1%) | | | |
| トーセイ | 103.8 | 101.9 | 111,274 |
| サービス業(13.5%) | | | |
| ＬＩＦＵＬＬ | 740.9 | － | － |
| アイティメディア | 96.6 | － | － |
| アウトソーシング | － | 65.2 | 90,432 |
| ライク | 207.5 | 99.5 | 211,537 |
| バリューコマース | － | 34.3 | 110,789 |
| セプテーニ・ホールディングス | － | 469.7 | 197,743 |
| インターワークス | 232 | － | － |
| シグマクシス | － | 68.8 | 105,332 |

| 銘柄 | | 期首(前期末) | 当期末 | |
|---|---|---|---|---|
| | | 株数 | 株数 | 評価額 |
| | | 千株 | 千株 | 千円 |
| ソウルドアウト | | － | 74.9 | 115,570 |
| プロレド・パートナーズ | | － | 10 | 49,000 |
| トランス・コスモス | | 171.5 | 72 | 199,872 |
| 丹青社 | | － | 69 | 52,302 |
| 応用地質 | | 61 | 124.2 | 157,485 |
| イオンディライト | | － | 18.8 | 49,857 |
| 合計 | 株数・金額 | 11,631 | 7,191 | 9,907,083 |
| | 銘柄数<比率> | 56銘柄 | 64銘柄 | <95.4%> |

(注1) 銘柄欄の(　)内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。
(注2) 合計欄の<　>内は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注3) 評価額の単位未満は切り捨て。

### (2) 国内投資信託受益証券、投資証券

| 銘柄 | | 期首(前期末) | 当期末 | |
|---|---|---|---|---|
| | | 口数 | 口数 | 評価額 |
| | | 千口 | 千口 | 千円 |
| インヴィンシブル投資法人 | | － | 4 | 135,395 |
| 合計 | 口数・金額 | － | 4 | 135,395 |
| | 銘柄数・<比率> | 0銘柄 | 1銘柄 | <1.3%> |

(注1) 合計欄の<　>内は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 単位未満は切り捨て。

## ■ 有価証券の貸付及び借入の状況 (2020年11月20日現在)

該当事項はありません。

## ■ 投資信託財産の構成 (2020年11月20日現在)

| 項目 | 当期末 | |
|---|---|---|
| | 評価額 | 比率 |
| | 千円 | % |
| 株式 | 9,907,083 | 92.2 |
| 投資証券 | 135,395 | 1.3 |
| コール・ローン等、その他 | 701,337 | 6.5 |
| 投資信託財産総額 | 10,743,815 | 100.0 |

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

## ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2020年11月20日現在）

| 項目 | 当期末 |
|---|---|
| (A)資産 | 10,743,815,615円 |
| コール・ローン等 | 360,998,044 |
| 株式(評価額) | 9,907,083,300 |
| 投資証券 | 135,395,000 |
| 未収入金 | 261,165,971 |
| 未収配当金 | 79,173,300 |
| (B)負債 | 357,289,266 |
| 未払金 | 42,910,570 |
| 未払解約金 | 314,377,707 |
| 未払利息 | 989 |
| (C)純資産総額(A－B) | 10,386,526,349 |
| 元本 | 2,103,219,326 |
| 次期繰越損益金 | 8,283,307,023 |
| (D)受益権総口数 | 2,103,219,326口 |
| 1万口当たり基準価額(C／D) | 49,384円 |

< 注記事項(当期の運用報告書作成時には監査未了) >

1.期首元本額　3,985,423,558円
　期中追加設定元本額　185,795,995円
　期中解約元本額　2,068,000,227円

2.期末元本の内訳
　スパークス・M&S・ジャパン・ファンド　2,056,606,425円
　スパークス・日本中小型株式ファンド(ラップ向け)　46,612,901円

## ■ 損益の状況

当期　（自2019年11月21日　至2020年11月20日）

| 項目 | 当期 |
|---|---|
| (A)配当等収益 | 274,790,673円 |
| 受取配当金 | 275,164,104 |
| その他収益金 | 10,301 |
| 支払利息 | △ 383,732 |
| (B)有価証券売買損益 | 738,387,257 |
| 売買益 | 2,634,740,065 |
| 売買損 | △ 1,896,352,808 |
| (C)信託報酬等 | △ 8,477 |
| (D)当期損益金(A＋B＋C) | 1,013,169,453 |
| (E)前期繰越損益金 | 13,925,169,582 |
| (F)追加信託差損益金 | 635,172,948 |
| (G)解約差損益金 | △ 7,290,204,960 |
| (H)合計(D＋E＋F＋G) | 8,283,307,023 |
| 次期繰越損益金(H) | 8,283,307,023 |

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ■ お知らせ

該当事項はありません。